

2023 登山講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会 伊東春正（かがりび山の会）

6月4日、茨城県常陸大宮市の籠岩山（かごいわさん）にて登山講習を行いました。今回の講習目的は、山行リーダークラスの会員を対象に、7点セット（補助ロープ、スリング長1、短2、カラビナ2、環付カラビナ1）を使用して岩稜地帯の通過に必要なスキル習得です。

山行リーダークラスが対象ですので、「確保のための支点づくり」、「確保方法」、「トラバースのためのロープ設置」が中心でした。

参加者は、下記6会で計11名でした（教遭委員4名を含む）。

つつじヶ丘駐車場から出発し、途中の釜沢越で次の練習をしました。

- ・トラバースのためのロープ設置
- ・ローダウンのための支点づくりと確保
- ・ロープ回収のためのダブルロープによる懸垂下降

籠岩山を過ぎた各難所で、訓練内容を実地で行いました。各難所では10mの補助ロープでは短くて対応できなかつたため、今後7点セットの「10mの補助ロープ」は再考すべし…と感じました。

訓練後の下山途中、教遭委員が、岩が張り出した狭い登山道の端の土の部分に足を置いたところ、土が崩壊し10m滑落、ロープで引き上げる…というアクシデントがありました。まさに今日訓練したトラバースのためのロープ設置を行えば防げた事故ですが、現実には危険箇所ごとに毎回ロープを出すようなことはしませんので、個人の慎重な行動が求められます。

実施後のアンケートでは、次の意見などが寄せられました。次回の参考にします。

- ・今回の研修は人数が少なく、講師に質問が出来て良かったです。
- ・実際の登山で補助ロープを出す機会は稀であるため、年1回程度は実践訓練が必要である。
- ・沢や雪山の技術講習があると良いです。
- ・山での訓練の前に、机上訓練も必要かと思う。
- ・当会へのフィードバックに取り組みたいと思います。

*参加会：船橋勤労者山の会、かがりび山の会、岳人あびこ、松戸山の会、東葛山の会、ちば山の会

